

人が動く、国土が躍動する。
国土交通省



みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所
下田港事務所



清水港ミステリー・オリエンテーリングを開催

平成15年(2003年)4月に清水市と静岡市が合併し、新『静岡市』となりました。そこで国際貿易港である清水港についての歴史や役割などを旧清水市の枠を超え、より多くの皆さんに理解していただくため、“清水港ミステリー・オリエンテーリング”を11月14日に清水港を中心に周辺市街地で開催しました。

“清水港ミステリー・オリエンテーリング”とは、当事務所のイメージキャラクター「ベズ」が何者かに誘拐され行方不明になり、犯人から挑戦状が届いたという設定で、参加者の方には犯人からの問題を解き、清水港の歴史、役割に関係の深いポイント(FAZ倉庫、海づり公園、フェルケール博物館、清見寺、末廣、次郎長生家)をまわりながら「ベズ」を探し、犯人を特定してもらおうという参加型のイベントです。

始めに参加者の皆さんには当事務所の会議室で「ベズ」が行方不明になった経緯や今から始まるオリエンテーリングの注意事項などの説明ビデオを見ていただき、その後、犯人からの問題が配られました。参加者の皆さんは問題を読んで、「ベズ」がいると思うそれぞれの場所に向かって事務所を出発して行きました。

ゴールである缶詰記念館(フェルケール博物館内)では究極の問題を解き、犯人を特定してもらいました。参加者の皆さんは最後に「ベズ」の姿を見つけると喜んだり、こんなところにいたのか!と驚いたり、それぞれの反応をしていました。

この“清水港ミステリー・オリエンテーリング”は定員320名に対して524名の参加申込みがあり、当日は270名(1名棄権)の方が最後まで謎を解いて「ベズ」を探し出してくれました。当日は、天候にも恵まれ、事故もなく無事に終わることができました。



〈参加者募集のチラシ〉



FAZ 倉庫の奥にあるコンテナの中に“ベズ”がいる!?



各ポイントでもらうジグソーパズルのピースを貼り合せると、犯人と“ベズ”の居場所がわかる『究極の問題』が…。
難問に挑戦する参加者の皆さん



あっ、あそこに“ベズ”がいる!



缶詰記念館(フェルケール博物館内)の2階にいる“ベズ”を見つけてくださった参加者の皆さん!!

“ベズ”を探してくれて、ありがとう!!



◎ 御前崎港に初の定期コンテナ船が就航



〈初入港したサターン号〉

平成16年10月31日に御前崎港女岩地区多目的国際ターミナル初となる東南アジア航路の定期コンテナ船が入港しました。第1船の就航を記念して歓迎式典が開かれ、御前崎市長、相良町長をはじめ多くの港湾関係者が出席し就航を祝いました。

入港したのは15,000トン級(全長159m)のコンテナ船「サターン」号。

四輪車、二輪車の部品をマニラ(フィリピン)を經由して、8日かかりでジャカルタ(インドネシア)まで運ぶもので、御前崎港には毎週木曜日に入港する予定となっています。

また、11月19日には新たに2航路目(タイ・シンガポール行き等)が新規開設され、同月23日にはプサン(韓国)行きのコンテナ船も入港しました。

今後、県中西部の国際貿易港として御前崎港の益々の発展が期待されています。

◎ 清水港に新規北米航路が開設

清水港では13年ぶりとなる北米航路が新規に開設し、11月3日に第1船「マークス・ピッツバーグ」号(約29,000トン)が入港しました。

清水港での主な取り扱い貨物は輸出品がオートバイ、輸入品が中国からの雑貨などで、寄港地は、寧波→上海→神戸→清水→ロサンゼルス→オークランド→ダッチハーバー→横浜→釜山→寧波となり輸出入の利便性が更に増すこととなりました。

◎ 沼津港の大型展望水門「びゅうお」が完成

静岡県は沼津港の開口部に、東海地震の発生により予想される津波から沼津市民の生命と財産を守るための大型展望水門が完成しました。9月26日の完成記念式典では梅原中部地方整備副局長も祝辞やテープカットを行うなど、多数の関係者で完成を祝いました。

水門は幅40m、高さ9.3m、重量は406tと国内でも最大級のもので、



緊急時の水門閉鎖には管理棟からの遠隔操作、更に震度6弱相当の地震感知で自動的に降下するシステム

となっています。また、地上約30mの上部連絡橋は富士山から伊豆半島、駿河湾といった360度の展望が楽しめ、公募により「びゅうお」と愛称がつけられました。「びゅうお」は市民の安全だけでなく観光施設としても期待されています。



〈「びゅうお」の全景〉

◎ 熱海市の海岸環境整備事業が「手づくり郷土賞」に認定



〈川口熱海市長に手渡された認定の銘板〉

国土交通省の今年度の“手づくり^{ふるさと}郷土賞”に熱海市の海岸環境事業が選定され、11月23日に熱海市渚親水公園において認定証の伝達式が行なわれました。

古くからの観光名所として有名な熱海の海岸線は、いつしか波消ブロックが並び観光客や市民が近寄り難いものとなっていました。このような中、熱海市は街づくりの目標を「しあわせもてなし おしゃれな熱海」と定め平成元年に策定した熱海コースタルリゾート計画に基づき、海岸環境整備事業を進めてきました。

現在では背後に駐車場を備えた親水護岸や欧州風テラス、砂浜の再生が行われ、全国でも初となる砂浜を夜間ライトアップするムーンライトビーチの演出により観光客・市民の憩いの場として利用されています。

◎清水港興津FAZフェア開催

清水港は平成8年3月に輸入促進(F A Z)地域に指定されており、その中核施設である興津国際流通センターで11月21日に“清水港興津FAZフェア”が開催されました。



このフェアは静岡市民だけでなく多くの方に輸入商品を紹介し、清水港と静岡地域の産業の活性化、経済の振興を図ることを目的に毎年開催され、当事務所も輸出入に関するパネル展示、清水港の紹介ビデオの放映などを行いました。また来場者の方には清水港に関するアンケートにご協力いただき、展示内容や港の整備についての意見をいただきました。



◎東海大学短期大学部の学園祭に出展



10月31日～11月3日の4日間行われた学園祭(柚木りんどう祭)に当事務所からパネル展示や岸壁の施工状況を解説した模型を出展し、清水港紹介ビデオ上映及び清水港をテーマとしたクイズ「クイズに挑戦!!」などを行いました。当日は、当事務所のキャラクター「ベェズ」も敷地内を歩き回り、清水港をPRし、大変な人気でした。



キャンパス内では、様々な種類の模擬店が並んでおり、たくさんの学生や親子連れでにぎわい、清水港への理解が深まりました。

◎「2004豊かなウォーターフロントフォトコンテスト」表彰式

12月9日に当事務所で“2004豊かなウォーターフロントフォトコンテスト”(国土交通省後援)の表彰式が行われました。

このコンテストは、海、海辺の素晴らしさを再認識していただき、ウォーターフロントに対する意識の啓発を目的として、みなとや海辺の風景、そこに集う人々の姿などを題材とした写真を全国から募集するもので、今年は588点の応募がありました。

静岡県内では優秀賞(港湾局長賞)に静岡市の飯田忠雄氏、中部地方整備局長賞に掛川市の山崎俊泰氏が入選し、表彰式では佐藤清水港湾事務所長からお二人に賞状と記念品が授与されました。

● 優秀賞(港湾局長賞) ●



「荷揚げ」 飯田忠雄氏

● 中部地方整備局長賞 ●



「消防出初め式」(4枚組) 山崎俊泰氏

帆船「日本丸」が4年ぶりに寄港

11月13日～18日にかけて航海訓練所所属の練習帆船「日本丸」(約2,600トン)が4年ぶりに清水港に寄港し、13日には日の出ふ頭で歓迎式典が行われ、午後からはセイルドリルが披露されました。

セイルドリルとは実習生がマストの帆を全て張ってたたむという訓練で、すべての帆が張られるのはこのセイルドリルの時だけとあってたくさんの市民の方が見学に訪れました。

寄港中は、普段みる事のできない船内を見学できる一般公開や夜間には船にイルミネーションが灯されるなど、様々なイベントが開催されました。

日本丸は18日に小雨の降る中、集まった市民の皆さんに見送られて出港して行きました。



〈入港した「日本丸」〉

みなとづくり見学会



〈玉川学園の皆さん〉

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く、『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。

9月27日	静岡県行政センター防災監
9月28日	御前崎町商工会
10月6日	志榛地区連観光部会
10月21日	玉川学園小学部
11月4日	伊東市立宇佐美小学校4年
11月17日	静岡県行政センター

*黒字:清水港/青字:御前崎港/緑字:下田港 実施

事務所管内の主な動き

9.26	沼津港大型展望水門「びゅうお」完成式典	11.12~14	中部横断道フェア
9.30	「田子の浦港みなとまちづくり基本構想」調査検討委員会	11.13	帆船「日本丸」入港
		11.14	清水港ミステリー・オリエンテーリング
10.8	鬼頭港湾局長講演会	11.19	御前崎港・定期コンテナ航路就航歓迎会
10.26	清水港 FAZ 輸入商談会開会式	11.21	清水港興津FAZフェア
11.2	静岡県港湾物流促進戦略策定調査委員会	12.9	御前崎港工事安全パトロール
11.5	なかの国女性懇談会	12.17	第2回「田子の浦港みなとまちづくり基本構想」調査検討委員会
	みなと色彩計画企業説明会		

★海とみなとの相談窓口★

全国共通フリーダイヤル



0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること
- …その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください。